

北見でBDF実験

美幌町、食用油再利用へ

美幌町と道央環境センター美幌支店は7日、廃食用油を再利用したバイオディーゼル燃料(BDF)の走行性能実証試験を、北見市東相内町の自動車整備工場エル・エー・ピーで実施した。

同支店は07年度から、実用化に向けた試験に取り組んでいる。町が家庭から回収した天ぷら油などを使い、町廃棄物処理場の一角に設置したプラントで同支店が精製している。

BDFは生物に由来する油を原料としたディーゼル燃料。美幌町の駆動輪を乗せ、エンジンの力でローラーを回すことで、車の出力を測定する「シャシーダイナモメーター」という装置を使用。同じ車で燃料を入れ替え、BDFと軽油の出力の差を調べた。



美幌町は08年度、約1万4千リットルのBDFと軽油の出力を比較するために行われた実証試験

の廃食用油を回収。うち約3500リットルをBDFに精製しこみ収集車など2台の燃料として試験使用している。
(立野理彦)